



第395号

2019年11月

〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行



貧しい人のための世界祈願日 11月17日
いつくしみの特別聖年(2015年12月8日〜2016年11月20日)の閉年にあたり公布された使徒的書簡「あわれみあるかたど、あわれな女」(2016年)で教皇フランシスコは、年間第33主日を「貧しい人のための世界祈願日」とするよう定めた。

教区ホームページ

福音のひびき

11月の説教者
3日 年間第31主日 小川 満 (富山地区)
10日 年間第32主日 平田 政信 (小牧教会)
17日 年間第33主日 九里 彰 (金沢教会)
24日 王であるキリスト 早川 和彦 (名古屋教区)

全部を神にささげる人生
聖ロレンソ・ルイス記念ミサ

フィリピン初の聖人、聖ロレンソ・ルイス(聖トマス西と15殉教者の一人)の記念日の9月28日、一宮教会で記念ミサが行われた。フィリピン司教と3人の司祭が英語で共同司式をした。ミサに先立ち、ロレンソの殉教に至る生涯が映像で紹介された。また、説教はジュン神父(三河カトリックセンター)が担当した。神父は「ロレンソの祈り」の内容に触れて、「千人の人生」という言葉があるが、聖ロレンソのような信仰深い子どもに育ててほしいと呼び掛けた。



この日は松浦司教の誕生日でもあったため、ミサの終わりに司教に花束が贈られた。ミサ後はホールでバザーが行われ、フィリピンのお菓子や手芸品などが販売された。



この日は松浦司教の誕生日でもあったため、ミサの終わりに司教に花束が贈られた。ミサ後はホールでバザーが行われ、フィリピンのお菓子や手芸品などが販売された。

第34回名古屋教区 障害者のつどい in 金沢

ナショナル司教ミサ、その後英隆一朗神父(イエズス会)の講演「心を病む人々と共に」を、同じ聖堂で行なった。英神父は「たとえ話」は、他人のことは、自分自身に語りかけたこととして聞くことが大切である。人が病むとは、複合的な原因がある。現在、引きこもり者は100万とも200万とも言われていて、年齢層も幅広い。多くの病人を癒したイエス、しかし病人の周りにいた人々は、そのイエスを追い出そうとした。これが人間の闇かもしれない。お互いが自分の力を出し合って助け合いながら、癒しの力を分かち合いながら生きていくこと、一私たちが集まりとは、そういうもの。問題が発生したら困難としてではなく、考えるチャンスとして捉えたい。問われることは、いつももある」と話された。



また日本カトリック障害者連絡協議会会長(城北橋教会 新谷栄子)が、成功裡に終わった。



「た」と言われたが、全然違うなあっていな。社会の一番の罪は、障害者を無視することだ。聞いてもらうだけで救われることがあるので、対応して欲しい」と付け加えた。

カトリック金沢教会で9月29日、名古屋教区障害者連絡会、教区カリタス福祉委員会、北陸ブロックの共催により「障害者のつどい」が開かれた。10時からインター

ことが大切である。人が病むとは、複合的な原因がある。現在、引きこもり者は100万とも200万とも言われていて、年齢層も幅広い。多くの病人を癒したイエス、しかし病人の周りにいた人々は、そのイエスを追い出そうとした。これが人間の闇かもしれない。お互いが自分の力を出し合って助け合いながら、癒しの力を分かち合いながら生きていくこと、一私たちが集まりとは、そういうもの。問題が発生したら困難としてではなく、考えるチャンスとして捉えたい。問われることは、いつももある」と話された。

総括として松浦司教は、「私たちは本当に開放されたいと思ってい

川啄木が息子を若くして亡くした時に詠んだ句「悲しさは人の常なり 淋しさは魂の故郷なり」を取り上げて、「亡くなった人たちにそのまま永遠に会えないということではない。いつか神の元、ふるさとに戻り、必ず会える。私たちの魂は、どこかでこのことを知っている。イエスは十字架と復活によってそのことを私たちに示してください。そういう復活の信仰を今、新たにしたい」と述べた。

教皇来日中の日程発表

バチカン10月2日(日本時間午後5時)、教皇フランシスコの来日中の日程を下記のように発表した。

- 11月23日(土) タイ・バンコクー東京
 - 17:40 直前の訪問国タイから東京国際空港(羽田空港)到着
 - 歓迎式(東京国際空港<羽田空港>)
 - 司教との集い(ローマ教皇庁大使館/教皇の講話)
- 11月24日(日) 東京ー長崎ー広島ー東京
 - 7:00 航空機で長崎へ
 - 9:20 長崎空港到着
 - 核兵器に関するメッセージ(長崎爆心地公園)
 - 日本二十六聖人殉教者への表敬(西坂公園・殉教者の記念碑/教皇のあいさつとお告げの祈り)
 - 昼食(長崎大司教館)
 - ミサ(長崎県営野球場/教皇の説教)
 - 16:35 航空機で広島へ
 - 17:45 広島空港到着
 - 平和のための集い(広島平和記念公園/教皇のメッセージ)
 - 20:25 航空機で東京へ22:10 羽田空港到着
- 11月25日(月) 東京
 - 東日本大震災被災者との集い(バルサール半蔵門/教皇の講話)
 - 天皇との会見(皇居)
 - 青年との集い(東京カテドラル聖マリア大聖堂/教皇の講話)
 - 昼食(ローマ教皇庁大使館)
 - ミサ(東京ドーム/教皇の説教)
 - 首相との会談(首相官邸)
 - 要人および外交団等との集い(首相官邸/教皇の講話)
- 11月26日(火) 東京ーローマ
 - イエズス会員とのプライベートなミサ(上智大学クルトウルハイム聖堂)
 - 朝食・イエズス会員と共に(イエズス会 SJ ハウス)
 - 病氣・高齢の司祭を訪問(イエズス会 SJ ハウス)
 - 上智大学訪問(教皇の講話)
 - 別れの式(東京国際空港<羽田空港>)
 - 11:35 航空機でローマへ

カトリック新聞より転載

聖書週間

(11月17日(日)~11月24日(日))

神の愛を知り、神の心を受け取るために、わたしたちは新約聖書と旧約聖書を神のことばとして読み、大切にします。「聖書週間」は、すべての人、とくに信徒が、この聖書に「より強い関心を持ち、親しみ、神の心に生きる」ようになるための週間です。各教区では、聖書への関心を高め、より親しむために、講演会、研修会、展示会などの催しが計画されます。このような催しに進んで参加するとともに、自分でも積極的に聖書に近づきましょう。たとえば、毎日欠かさず聖書を1章ずつ読む方法や、ミサにあずかなくても、ミサの聖書朗読の当日分を毎日読む方法も勧められています。



ミサ後、水の祝別が行われ、太田神父と早川助祭が先祖や兄弟姉妹が静かに眠る墓を祝福して回った。

『悲しみの星条旗』DVD上映会と対談会

「松浦悟郎司教とエイミ・ツジモト」

2011年3月の東日本大震災と福島第1原発事故の救援活動である『トモダチ作戦』に参加した米軍兵士たちが被ばくし、現在9名が死亡、多数の兵士が、国からの援助を受けられないまま、健康被害を訴えています。

兵士たちの苦しみを証言する朗読劇『悲しみの星条旗』をDVD化したものを視聴して事実を知り、わたしたち一人一人が『放射能』『人権』などを考える機会としたいと望んでいます。

日時 12月7日(土) 13:30開場
14:00~16:30

場所 カトリック布池司教座聖堂地下ホール

内容 第1部 朗読劇『悲しみの星条旗』

上演のDVD視聴

第2部 エイミ・ツジモトさんと

松浦悟郎司教の対談

参加費 無料 但し 整理券を発行します

(各小教区、団体へ配布の予定)、当日入場可。

主催 ともだちユニット(企画統括・エイミ・ツジモト)

後援 名古屋教区信徒徒職協議会

名古屋教区女子修道会在俗会連盟

名古屋教区正義と平和委員会

次世代を考える会、他



同時に、信仰の基本は家庭であり、私たち大人が子どもと向き合うことの重要性を説かれ、司教の親戚のご家庭では、寝る前に子どもたちとおやごさんがその日の出来事を分かち合い、共に祈っていること

また、教会学校が行ったアンケート集計結果を踏まえ、教会学校の取り組みについてもたくさん具体的なアイデアを披露していただいた。講演後の質疑応答では「悩まながら長年教会学校を担任してきたが、結果としてこれで良かったのだと思えて嬉しかった」「小教区を越えた取り組みについても考えてみたい」との感想が聞かれた。

(教会学校教師会事務局 東山教会、平嶋千恵)

松浦司教講演会

「子どもたちに信仰をつなぐ集い」

名古屋教区教会学校教師会が主催する、松浦司教講演会「子どもたちに信仰をつなぐ集い」が9月21日、布池文化センターで開かれ大人20人と子ども4人が参加した。

サプタイトルとして「家庭での信仰教育について考えませんか」との呼びかけがあった。司教はご自分で用意された資料をもとに、「子どもたちに信仰を伝えるとは?」「子どもたちに伝えたい信仰内容とは?」など順を追って話された。答えは実に単純明快であり、「神はおられる」「神はあなたを愛している」ことを繰り返して伝えていると話された。

同時に、信仰の基本は家庭であり、私たち大人が子どもと向き合うことの重要性を説かれ、司教の親戚のご家庭では、寝る前に子どもたちとおやごさんがその日の出来事を分かち合い、共に祈っていること

愛は微笑みから

マザー・テレサ記念ミサ

マザー・テレサ(コロンビアの聖テレサ)が帰天して22年となる9月5日、五反城教会で、神の愛の宣教者名古屋修道院(ジョセリア院長)主催の記念ミサが行われ、およそ170人が参列した。

ミサの司式は、淳心会のアンゲリア・ボーガルト神父(姫路)と3人の神父の共同司式だった。説教でボーガルト神父は、イエスの教えに基づくマザーの二つのスローガンについて述べた。その一つは、「愛はほほ笑みからはじまります」。

もう一つは、「小さなことに、大きな愛を」。これもマザーがいつも呼びかけていたことで、それにまつわるインドのある中学生のエピソードを紹介した。マザーの話聞いて自分も何かしようと、学校帰りに一人暮らしのおじいさんのところにこっそりと通うようになった彼は、外国旅行に出かけた時、おじいさんに手紙を出した。おじいさんは外国から初めて手紙をもらったことがうれしくて、誰かに告げたくて、その手紙を持ってある神父を訪ねた。たった二通の手紙を書く、そんな小さなことに大きな愛を込めて行うという、マザーの思いが伝わっていることを話す話だった。

ミサ後は、ホールで茶話会が開かれた。シスターや共労者(シスターたちを祈りで支えている病気で苦しむ人々)やボランティアスタッフが用意した軽食を囲みながら、参加者たちはあらためてマザーに感謝をし、祝日を祝った。



第28回ウエルフェアコンサート

「童謡100年記念コンサート」

重度障害者が社会で生活できるようにと活動を続けているAJU自立の家を支える後援会主催による「ウエルフェアコンサート」が9月5日、愛知県芸術劇場コンサートホールで開かれた。今年が童謡100年を記念してのコンサートで28回目を迎えた。

元NHKアナウンサーの内多勝康さんが総合司会を務め、初めに寛仁親王妃信子さまより「令和」に変わった本年5月にAJU自立の家の後援会の名譽会長をお受けしました。AJU自立の家のために出来る限り務めてまいりますので、ご指導お力添えを頂戴いただきましたら幸いです」と挨拶があった。

歌い継がれている芸術的にすぐれた数々の歌を、大庭照子さん(歌手)、高田真理さん(ソングライター)、志田雄啓さん(テノール)、西畑佳澄さん(ソプラノ)、多田聡子さん(ピアノ)、なないろ歌劇団、名古屋ヴァイルトゥオーゼン(名

「夕焼け小焼け」他5曲、第2部は「美しい日本四季」から童謡メドレー、突進ポルカ、日本の叙情歌など。 休息後、AJU自立の家後援会会長小野直彦さんより「ウエルフェアコンサートは28年前、寛仁親王殿下のご指導の下に

じいさんに手紙を出した。おじいさんは外国から初めて手紙をもらったことがうれしくて、誰かに告げたくて、その手紙を持ってある神父を訪ねた。たった二通の手紙を書く、そんな小さなことに大きな愛を込めて行うという、マザーの思いが伝わっていることを話す話だった。

ミサ後は、ホールで茶話会が開かれた。シスターや共労者(シスターたちを祈りで支えている病気で苦しむ人々)やボランティアスタッフが用意した軽食を囲みながら、参加者たちはあらためてマザーに感謝をし、祝日を祝った。

始まり、28回目を迎えた。今後は信子妃殿下にご指導を得ながら、後援会の充実を図ってまいります」と挨拶した。

第3部「みんなが歌おう」では「阿蘇からの風」や「さくらさくら」など、小学校で歌っていた懐かしい童謡や歌曲が流れ、会場の参加者も一緒に口ずさんでいた。

童謡という言葉は、大正7年に創刊された児童雑誌「赤い鳥」に、北原白秋、野口雨情、山田耕筰などが子供の良いたい音楽を与えたいとして芸術味豊かな子供の歌を創作・発表した運動からはじまった。

信仰をつむぎ、信仰をつなぐ

「美濃・尾張キリシタン顕彰碑」の建設募金 キャンペーン中！！

名古屋教区では17世紀後半に起こった「濃尾崩れ」発祥の地となった岐阜県可児市塩の地に顕彰碑を建てる予定です。只今募金キャンペーン中です。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

キャンペーン期間

2018年12月2日～2019年11月30日

振込先 カトリック名古屋教区

00810-5-50605

(通信欄に必ず「美濃・尾張キリシタン顕彰碑建設募金」と明記) 専用振込用紙は小教区に配布済み。

問合せ カトリック名古屋教区宣教司牧評議会

殉教者顕彰委員会委員長 浅井太郎神父

〒444-0864

岡崎市明大寺町字向山2-3

☎0564-51-1848 Fax0564-64-1215

東日本大震災・福島原発事故、災害支援金の報告

★発災時よりカリタス福祉委員会へ振込された支援金のご報告

・2011.3.17(発災後募金開始)から2019.9.30までの合計 31,165,490円

☆2019年9月 振込された支援金

1件 9,020円 (振込手数料引き去り後の金額)

振込ご協力いただいた小教区他 金沢教会

★名古屋教区の支援金は大阪教会管区震災復興支援プロジェクト、福島での原発被災支援活動されている団体を中心に支援しています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

・毎月の支援状況は名古屋教区報で報告。

・各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載。

<http://caritasjapan.jugem.jp>

支援金振込先
口座番号：00820-5-137456
名義：カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
※「東日本大震災・災害支援金」と募金の意向を記入願います

ご連絡・問合せ先
名古屋教区カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426 FAX 052-852-1422

第19回生命尊重講演会 いのちのバトン 守ろう小さな命 つなごう命の縁

“中今”を生きる

講師 宮田 修先生

(元NHKアナウンサー・千葉熊野神社宮司)

日時 11月10日(日) 14:00～16:00

会場 栄ナディアパーク6階セミナールーム3

地下鉄名城線「矢場町」駅下車6出口

参加費 一般1,000円、学生500円(当日券あり)

主催 愛知小さな生命を応援する会

共催 NPO法人円プリオ基金センター

チケット・問合せは

☎052-443-1559山田、☎052-882-8729杉原

アドレス .maruru-s@mui.biglobe.ne.jp

名古屋オルガンの秋2019 オルガン音楽で迎える教会の暦

○日時 11月3日(日・祝) 15:30～ 死者の月 死を思い起こせ
J.S.バッハ おお愛する魂よ、汝を飾れ BWV654 安らぎと喜びとともに
私は往く BWV616 K・ホイヤー 葬式の行列・死の嘆き・死の舞踏・変容、他
オルガン トーマス・マイヤー=フィービヒ&吉田文
○日時 12月1日(日) 15:30～ 待降節～バッハと後継者たち
J.S.バッハ 今来りませ、異邦人の救い主 BWV659、BWV661 目覚めよと呼ぶ声あり BWV645 Th・マイヤー=フィービヒ 今来りませ、異邦人の救い主 他
オルガン トーマス・マイヤー=フィービヒ&吉田文
会場 カトリック五反城教会 名古屋市中村区二瀬町27 ☎052-412-3456
交通 地下鉄東山線「岩塚駅」2番出口徒歩5分
入場料 無料ですが演奏会後に皆様の任意のご寄付をお願いします。
主催 名古屋オルガンの秋実行委員会
協力 カトリック五反城教会 二宮音楽事務所
問合せ 二宮音楽事務所 ☎052-505-0151 HP <http://organaki.exblog.jp>

第16回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院

日時 11月2日(土) 10:00～14:30(開場9:30) 雨天決行
場所 神言修道会多治見修道院 岐阜県多治見市緑ヶ丘38
(注意:小牧ワイナリーではありません)
参加費 前売り3,000円(当日3,500円) ワイン1本付き、記念ワイングラス付き。
未成年者は入場無料、ソフトドリンクは有料。
催し物 ワインセミナー/鳥幸子、ミニライブ/河原崎辰也
中部楽器技術専門学校、ケン・バルディス、2019年産新酒ワインの販売、他。
お食事 チーズ、パン、お肉など盛りだくさんの出店
交通 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください
なお、JR多治見駅北口からシャトルバスを午前9時から随時運行します。ご利用ください。徒歩30分。
お願い アルコール類は持ち込みNG。お酒はAJUのワインでお楽しみください。
主催 社会福祉法人AJU 自立の家
問合せ 小牧ワイナリー内、AJU ワインフェスタ実行委員会
☎0568-79-3001 Fax0568-79-3002
E-Mail: komakiwinery@aju-cil.com

「青年のための聖書の学び」11月17日(日)

テーマ:人と向き合う (マルコ1章29～31・40～45節)

対象 青年男女(18～32歳)
時間 14:00～19:50(高校生16:30まで)
13:30 玄関を開けます 聖書の「学び」「個人の祈り」、15:30 御言葉で感じたこと(分かち合い) おやつ、16:30 分かち合い 共同体と共に祈りと食事をする、(17:45 聖体顕示、晩の祈り、夕食) 食費は自由献金、19:45 絆明 サルヴェ・レジーナ 終了
基本的には毎月第3日曜日が聖書の学びの日です。
連絡先 ☎(052) 782-5850 名古屋千種区園山町1-56
聖マリアの無原罪教育宣教師修道会
担当者:シスター錠(いかり)政子
FB 「青年のための聖書の学び」 HP <http://www.concepcionistas.jp/>

モンダンヨンピルコンサート in 愛知

～未来への一歩～

日時 11月15日(金) 17:30開場 18:30開演
場所 春日井市民開館
愛知県春日井市鳥居松町5丁目44
交通 JR中央本線「春日井駅」北口より名鉄バス「鳥居松」下車徒歩2分
内容 総合司会 クオン・ヘヒョ(俳優・モンダンヨンピル代表)
出演予定 ノレペ ウリナラ他
韓国アーティスト多数参加予定
前売券 (全席指定) 一般3,500円(当日券4,000円)
高校生以下 1,000円、障害がある方1,000円
お申込 詳しくはチラシをご覧ください
主催 モンダンヨンピルコンサート in 愛知実行委員会
問合せ ☎090-8866-4015 Fax052-308-8364
MAIL/mongdang2019aichi@gmail.com
モンダンヨンピルとは?
2011年、東日本大震災によって被災した朝鮮学校を支援するために結成されたモンダンヨンピル。
2012年、日本で初となる東京コンサートを開催。収益金を被災地の朝鮮学校に寄付いたしました。その後毎年日本で開催され、東京、大阪、広島、茨木、山口、宮城、兵庫に続きこの度、愛知で開催されます。本コンサートの収益金はモンダンヨンピル実行委員会を通じて朝鮮学校支援に充てられます。

603件 29,378,990円
目標額 40,000,000円 (9月末)
達成率 約73.4%
郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

第13回

『あとから来る者のために』 原発勉強会

どなたでも、気軽にご参加ください。一緒に原発について考えましょう。
日時 12月14日(土) 13:30～15:00
場所 カトリック布池教会信徒会館3F 名古屋市東区葵1丁目12-23
参加費 200円
主催 次世代を考える会
問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360

《聖パウロ書院からのご案内》

ロザリオの祈り

どなたでも自由に参加できます。
毎月第2日曜日14:00～(約40分)
11月10日(日)、12月8日(日)

読書会

図書『修道院の風』原造(はらつくる)著
毎月第3土曜日14:00～15:30分
11月16日(土)、12月は休み。
聖パウロ書院 名古屋市東区葵1-13-2
☎052-936-4443

『初土曜日・ロザリオの集い』

日時 毎月第1土曜日 13:00～
場所 カトリック押切教会
名古屋市西区名西1
司祭 島袋幹男神父、他
スケジュール
13:00～聖体賛美式・告解・ロザリオの祈り
14:00～ミサ
15:00～聖母マリアの汚れなき心への奉獻の祈り
15:30～お茶タイム
主催 ロザリオの集いの会
問合せ 高木光男 ☎090-5451-4775

主にささげる24時間～聖体礼拝

主税町記念聖堂では月に2回、聖体礼拝が行われています。開始時と終了時にミサが行われます。どうぞご参加ください。
日時 毎月第2・第4木曜日
木曜日19:00～金曜日19:00
場所 主税町記念聖堂
名古屋市東区主税町3-33
主催 カトリック名古屋教区
名古屋教区本部事務局
問合せ ☎052-935-2223
責任者 平田政信神父
携帯電話090-1623-1170

2019年 名古屋教区合同追悼ミサのご案内

○東八事霊園内 第二カトリック墓地

日時 11月3日(日・祝) 14:00(雨天中止)

【雨天中止について】

当日のNHKの朝の天気予報で午後はっきり雨と予想された場合には、合同追悼ミサは中止。当日11:00まで教区事務所で電話のお問い合わせに対応させていただきます。また中止の場合には12:00に現地に追悼ミサ中止の看板を設置いたします。

駐車場には限りがあり、霊園内への自動車での入場をお断りする場合があります。公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

問合せ:名古屋東区葵2丁目6-35

カトリック名古屋教区本部事務局内 カトリック霊園管理事務所

☎052-935-2223、FAX052-935-2254

お願い

○名古屋市霊園管理事務所のご指導により墓地への納骨の際は、申請・許可が必要です。八事霊園の方は、事前に教区本部事務局墓地係までお知らせ下さい。東八事霊園の方は管理会社(株)名古屋苑(052-831-1370)までお問合わせください。

カトリック中央協議会新刊書

2020年版年次刊行物

- カトリック教会情報ハンドブック2020 巻頭特集 わたしはあなたに賛美をささげます～「教会の祈り」に親しむために～最新調査による住所録 カトリック関連施設約3300件を収録した住所録。教会には主日のミサ時間などの情報も付加。本体500円+消費税
- 教会暦と聖書朗読2020年度 主日A年 週日第2周年 日本の教会のための典礼歴。聖書朗読箇所や答唱詩編、祈願や叙唱の「ミサ典礼書」の頁数等を掲載。本体800円+消費税
- 使徒的勧告 教皇フランシスコ キリストは生きている 生きておられるキリストからのメッセージを伝え、自己の召命に忠実であるよう、青年キリスト者を励ますとともに、彼らに寄り添う立場の司牧者や信徒にも、その成長や活躍の障害や足かせにならないよう貴重な示唆をなす。本体1,400円 好評発売中。



福音化の歩みのために



11月
 3日(日) 瑞浪教会聖信式* / 教区東八事第二墓地合同追悼ミサ
 6日(水) 難民移住移動者委員会
 9日(土) 信徒使徒職協議会役員会
 10日(日) 金沢教会聖信式* / 三河B会議 / 教区中高生会

12月
 26日(火) 中部カトリック学校校長会
 12月5日(木) 常任司教委員会
 6日(金) 日本難民移住移動者委員会
 11日(水) 社会司教委員会
 12日(木) 13日(金) 司教総会

12月の教会暦
 1日(日) 待降節第1主日 宣教地召命促進の日(献金)
 8日(日) 待降節第2主日 無原罪の聖マリア(祭)
 15日(日) 待降節第3主日
 22日(日) 待降節第4主日 主の降誕(祭)
 29日(日) 聖家族

11月
 6日(水) 日本難民移住移動者委員会
 7日(木) 常任司教委員会
 23日(土) 11月25日(月) 教皇訪日に関する行事へ
 27日(金) 1月3日(日) 教区事務所休館

11月の教会暦
 1日(金) 諸聖人(祭)
 2日(土) 死者の日
 3日(日) 年間第31主日
 4日(月) 祝聖カロロ・ポロメオ司教(記)
 9日(土) ラテラン教会の献堂(祝)
 10日(日) 年間第32主日
 11日(月) 聖マルチノ(ツール) 司教(記)
 12日(火) 聖ヨサファト司教殉教者(記)
 17日(日) 年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日
 聖書週間(24日まで)
 聖マリアの奉獻(記)
 聖セシリアおとめ殉教者(記)
 王であるキリスト(祭)
 30日(土) 聖アンデレ使徒(祝)

12月
 1日(日) 子どものつどい*
 8日(日) 教区中高生会
 10日(火) 樹の会
 11日(水) カリタス福祉委員会
 14日(土) 信徒使徒職役員会
 15日(日) 北陸B子供会合同クリスマス会
 17日(火) カトリック看護協会例会
 19日(木) 教区顧問会*
 21日(土) レジオ名古屋クリア
 26日(木) 教区司祭の集まり / 月集(テ・デウム)*

11月の教会暦
 12日(火) 樹の会
 13日(水) カリタス福祉委員会
 16日(土) レジオ名古屋クリア
 17日(日) 豊橋教会聖信式* / 城北B会議 / 城南B会議
 19日(火) カトリック看護協会例会
 21日(木) 教区顧問会 / 月集*
 23日(土) 祝共助連絡会共助の集い
 24日(日) 城東B会議 / 北陸B会議
 30日(土) 典礼委員会

告知板
 福信館便り ☎052(93)7180
 ◇11月の炊き出し 木7日布池
 14日東海・南山・樹の会、21日聖霊・南山、28日城北橋 金1日喜望の会、8日南山、15日一宮、22日布池、29日江南
 ▼福沢教会ファックス番号(新)
 0587・32・6713

カルメル修道会 土曜静修 in 名古屋
 一カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日ー

日時 11月2日、12月7日
 いずれも土曜日。13:00~17:00
 講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。

場所 カルメル修道会 日比野(本部) 修道院(カトリック日比野教会)
 交通 地下鉄名港線 日比野駅下車 徒歩約8分
 その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。当日は千円程度のご寄付をお願いします。ゆるしの秘跡にあずかることができます。
 問合せ 男子蹴足カルメル修道会 一日静修係
 FAX 052-681-6445 E-mail hibino@carmel.or.jp

名古屋教区

こどものつどい

日時 12月1日(日)
 14:00~16:00
 場所 カトリック城北橋教会
 名古屋市北区金城1丁目1-57
 14:00~司教ミサ。ミサ後1階ホールでレクリレーション
 問合せ 教会学校 教師会事務局
 東山教会 ☎052-781-6514

告知板

福信館便り ☎052(93)7180
 ◇11月の炊き出し 木7日布池
 14日東海・南山・樹の会、21日聖霊・南山、28日城北橋 金1日喜望の会、8日南山、15日一宮、22日布池、29日江南
 ▼福沢教会ファックス番号(新)
 0587・32・6713

特設サイトよりオフィシャルテーマソングを公開

教皇フランシスコ訪日に向けて、特設サイトよりオフィシャルテーマソングが公開されました。このテーマソングは、今回の来日テーマ「すべてのいのちを守るため ~ PROTECT ALL LIFE ~」の基となった、フランシスコ教皇の回勅「ラウダート・シ」(2015年発表) 巻末に収められている「被造物とともにささげるキリスト者の祈り」から、着想を得て、制作されたものです。当テーマソングは各会場で、BGMとして使用されるほか、東京や長崎で実施されるミサ等においてフランシスコ教皇に向けて披露される予定です。

カトリック中央協議会 検索

教皇フランシスコ訪日に向けてのオフィシャルテーマソング

POPE FRANCIS IN JAPAN 2019 オフィシャルテーマソング
PROTECT ALL LIFE ~ 時のしるし ~
 Lyrics: Jun Inoue Music: Jun Inoue/Amadeus Code AI Arrangement: Gyo Kitagawa
 Performed by Dreamers Union Choir

はるか道のかなた つながる世界 ぼくらは未来へ 何を残せるだろう?
 嘆き哀しんでる 人がいたならただ行って寄り添い 涙をこぼしたい
 夢をかなえるよ この地球(ほし)で泣いている
 君の声を知らせて きっと出会う奇跡 めぐりあうこの場所で

We protect all life We protect all life We protect all life
 Protect this world 'cause we are the one
 Protejamos toda la vida Protejamos toda la vida Protejamos toda la vida
 Protect all life with the power of love

ほくも一人歩く この旅路を 何度もくじけて あきらめそうになるけれど
 どんな坂道でも 震えた夜も いつかたどり着く 光がさす方へ
 同じ時の中 ただ一度の人生で
 君のために祈るよ ぎゅっとなだんだ手を 二度と離さないで

We protect all life We protect all life We protect all life
 Protect this world 'cause we are the one
 Protejamos toda la vida Protejamos toda la vida Protejamos toda la vida
 Protect all life with the power of love

We protect all life We protect all life We protect all life
 Protect this world 'cause we are the one
 Protejamos toda la vida Protejamos toda la vida Protejamos toda la vida
 Protect all life with the power of love
 Protect all life with the power of love

教皇来日記念企画展のお知らせ

カトリック福岡司教区ではローマ教皇フランシスコの来日に合わせ、下記の通り「教皇来日記念企画展」をカトリック大名町教会で開催中です。福岡に立ち寄ることがありましたら、企画展をご覧いただくようにと呼びかけています。

ローマ教皇来日記念企画展 「いつくしみと憐みの人ー教皇フランシスコ」
 期日 10月19日(土)~12月3日(火) 12:00~17:00 金曜日は20:00まで
 会場 カトリック大名町教会 福岡市中央区大名2-7-7
 休館日 水曜日
 入場 無料
 主催 カトリック福岡司教区
 共催 カトリック福岡教区信徒使徒職協議会
 問合せ ☎092-522-4059 (平日9:00~17:00)
 メール fukuokadiocese@gmail.com

・教皇フランシスコが あなたに知ってほしい 10のこと
 女子パウロ会 660円(税込)

・教皇フランシスコが 家庭についてあなたに知ってほしい10のこと
 女子パウロ会 660円(税込)

教皇フランシスコはメディアと民衆の心に強い印象を与えました。教皇のビジョンや価値観、そしてあなたへのメッセージを親しみをこめてわかりやすく述べています。

もくじ

- 「貧しい人のための 貧しい教会」
- 謙遜
- 人々に寄り添う
- 神のあわれみを絶対に見限らないで
- 今ではみんな聖フランシスコの仲間
- 信仰は勧められるべきもので、けっして押しつけてはならない
- わたしたちはNGO(非政府組織)ではない
- 何があっても悲観主義に負けるな
- ユーモアのセンスを身につけよう
- 一致の重要性

教皇フランシスコはしばしば信仰と家庭の問題について語ってきました。単純なことばで苦戦している家庭を元気づけています!

もくじ

- 「ありきたりのやり方に逆らおう」
- 「教会の喜び」である母親
- 父親へ。子どものために「時間を無駄にしない」
- 祖父母は「記憶の宝庫」
- 子どもたち、「勇気を出して前進しよう」
- 「閉ざされた扉はどこにもない!」
- 「イデオロギーの植民地化」に警戒しなさい
- 「責任ある親であること」
- 「あわれみといつくしみのとき」
- 「涙で清められた目」